

令和5年度 こども園における自己評価

へしきや・かなさこども園

A 十分達成している B ほぼ達成している C 一部検討が必要 D 改善が必要

(実施した保育教諭9名)

項目	内 容	A %	B %	C %	D %
理念・計画等について	① 園の理念や教育・保育目標を理解している	67	33	0	0
	② 地域の実態や保護者の意向等を確認しつつ教育・保育計画を作成している	56	33	11	0
	③ 毎月の指導計画は乳幼児の実態に即して作成している	45	44	11	0
	④ 評価・反省の結果を次の計画に反映させている	56	44	0	0
教育・保育について	① 子ども一人一人の理解を深め受容しようと努めている	89	11	0	0
	② 自然と関わる機会を作り興味を引き出し自然の素材を教育・保育に活かしている	11	45	44	0
	③ 身体を使った様々な遊びや表現遊びを工夫している	56	33	11	0
	④ 評価結果を基に教育・保育の改善に努めている	78	22	0	0
人権	① 子どもに人格を無視した言葉や態度がないように十分配慮している	78	22	0	0
行事について	① 行事のねらいを定め、ねらいが達成できるように実践している	67	33	0	0
	② 行事の実施について保護者の願いや意見を考慮するよう努めている	78	22	0	0

項目	内 容	A	B	C	D
行事について	③ 計画・実施・評価・改善（PDCA）の体制をとっている	67	33	0	0
	④ 行事の種類や実施回数は適切である	89	11	0	0
食育・健康・安全について	① 食育を通して子ども達が楽しく食べ食べる意欲が育つように工夫している	89	11	0	0
	② 食育アレルギーは個別に配慮して食事を提供している	100	0	0	0
	③ 子どもの健康状態を把握し体調の変化に速やかに気付けるよう配慮している	67	33	0	0
	④ 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施している	89	11	0	0
特別支援教育	① 特別支援教育担当者を決め、家庭・地域社会・関係機関との連携を図っている	59	29	12	0
	② 職員会議の中で配慮を要する子への対応などの共有、連絡事項の確認を行っている	59	29	12	0
組織運営	① 研修等に積極的に参加し個々の資質向上に努めている	78	11	11	0
	② 各係の担当、職務の役割分担を明確化し管理責任体制の整備を図り職員間で「報告・連絡・相談・確認」の連絡、連携ができる	11	78	11	0
	③ 協力体制の重要性を認識し上司や先輩の指示・指導・同僚助言に耳を傾け、素直に聞き入れ決定事項、規則、手続きなどを守ることができる	78	22	0	0

項目	内 容	A	B	C	D
運 営 組 織	④ 各種文書や個人情報（パソコン・USBを含む）を適切に管理し守秘義務を厳守、情報の取り扱いを周知徹底している	89	11	0	0
施 設 ・ 設 備	① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	67	33	0	0
	② 遊具・用具等を計画的に行っている	78	22	0	0
	③ 災害や不審者等に対応する周到な配慮を行っている	78	11	11	0
	④ 掲示板やICT（コドモン）等を適切かつ効果的に活用している	89	0	11	0
地 域 ・ 小 学 校 と の 連 携	① 他施設等の幼児や児童生徒と触れ合う中で幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助、支援を行っている	56	33	11	0
	② 地域の小学校との交流や連携を積極的に進めている	78	11	11	0
	③ 地域のイベントに積極的に参加し地域の文化や生活に触れている	78	22	0	0
	④ 子育て支援機関と情報共有しながら連携をとっている	45	44	11	0
子 育 て の 支 援	① 朝・夕の送迎時に子どもの様子を伝えあうよう努めている	89	11	0	0
	② 参観日や懇談会等を通して保護者と共通理解を得る	56	44	0	0

項目	内 容	A	B	C	D
子育ての支援	③ 園庭開放や子育て相談等、地域の親子が安心して遊べる場の提供を行っている	56	22	22	0
	④ 医療機関や包括支援センター等の専門機関と連携を図り保護者にとって必要な情報を提供している	44	56	0	0
情報の発信	① 園だよりやクラスだより、ドキュメンテーション、ホームページ等で施設の情報を発信している	89	11	0	0
	② 行事や子育て支援等を地域の連絡会や児童施設、小学校に周知している	78	11	11	0
外部評価	① 第三者評価を導入し施設運営に反映している	89	11	0	0
	② 地域や保護者の意見を施設運営に反映している	78	22	0	0

## 意見・改善策

### 理念・計画等について

- 年度初めに「かなさ福祉会3園合同園内研修」を設けており外間統括園長の講話を聞くことで園の理念や目標を共通理解している。
- 日々の保育を振り返り自分なりに反省をしながら次への保育や計画に活かす努力をした。
- キャリアアップ研修等を通して改めて園の理念や教育・保育目標を再認識しながら日々の保育に努めることができた。
- 月案・週案等、書類の提出期日を守る。
- ほけん集会や行事については反省、改善に努めている。

### 教育・保育について

- 小学校の運動場を利用しかけっこや虫取りを楽しみ捕まえた虫の育て方等、図鑑を見ながら観察を楽しんでいた。
- 廃材や玩具など子ども達が興味・関心を持てるように子ども達の日線に配慮しながら環境を構成した。
- 子どもの姿をよく観察し、今何に興味を持っているかを意識しながら幼児理解を深め、教育・保育に取り入れるよう心がけた。運動場を活用し、丈夫な体づくりに努めた。
- 園バスを利用し公園などで自然に触れるなど、散歩の機会をもっと多く取り入れたい。
- コロナウイルスが5類になりいろいろな行事が復活しているが、自然と関わる機会が少ないので地域の公園や離島（津堅島）訪問を計画し子ども達の興味・関心を広げたい。
- コドモンを導入し、月案や週案、日誌等、負担軽減となった。
- 子ども一人一人の性格や発達に応じた関わり方や配慮の工夫が必要と感じる。
- 子どもの言動からわかる事が多くある。その子にあった声かけを心がけている。

### 人権について

- 一人一人の子どもを大切にしている。
- 子どもの名前を呼び捨てにせず「さん」付けで呼ぶようにしている。
- 咄嗟の言葉かけも丁寧な言葉を心がけている。

### 行事について

- 前年度の行事の反省を踏まえて改善しながら行事に取り組んだ。
- 季節ごとの行事は充実している。
- 3園合同ミュージックフェスタは好評でした。
- 行事は笑顔で楽しく参加することを目標に無理のない練習を心がけた。

### 食育・健康・安全について

- 調理室の前に献立の食材を置くことでどの料理に変身したのか子ども達が気付くようになり食事の摂取量も増えている。
- 栽培活動が少ないように感じた。次年度は計画したい。
- 毎月、火災や地震、津波等、災害を想定し避難、消火訓練を行った。
- 一人一人の食事の様子を把握し、アレルギーや問題があった場合は主幹、園長を交えての話し合いを行いアドバイス等も受けながら楽しい食事になるよう努めた。お当番が盛り付けをする、バイキングでは食べられる量をよそう等、様々な工夫をすることで食事の摂取量が増えた。
- 食育集会以外にも食育に関する絵本の読み聞かせや三大栄養素パネルを食事前に活用することで子ども達も興味・関心を持っている。
- 苦手な食材に関しては無理強いせず子ども達が挑戦しようとする気持ちを育むよう努めた。

### 特別支援教育

- 担当が報告会等に参加し情報共有を行うが保育補助や支援員に伝わっていないことも多く改善する。
- 個別支援児一人一人の理解を深めるためモニタリング会議に参加し新たな支援等に努めている。各クラスの様子や困り感は全職員で共有している。
- 問題や困り感がないかクラスの様子を主幹や園長が訪ねてくれて話しやすい環境がある。
- 職員間で配慮を要する子への対応の仕方、工夫などを共有していくことで対応に困ることが軽減できた。
- 支援児に関して気付いたことや気になったことは必ず担任と共有している。
- 他クラスの気になる子の様子を共有することで関わり方や気を配ることができた。

### 組織運営

- コロナが5類になり、県外研修に積極的に参加し、他県の先生方と交流や見聞を深めることができた。
- 個人情報情報は職員一人一人が順守している。
- 職員間での「報告・連絡・相談・確認」の連絡等、不十分であったので連絡ノートの作成や週休の時などはラインを用いて共有する。

- 多くの研修に参加し質の向上に努め、保育に反映できた。
- 準備物等の細かい連絡や担任間の連携（報・連・相）がうまくいかず反省点が多かった。
- 提案された研修を受講したが、自ら学びたい研修はどのようなものがあるか検索できなかった。どのような分野に興味があるのか考慮したい。
- マネジメント研修を受講して、自分は園にとってどんな役割を持っているのか？を考えるきっかけになった。

### 施設・設備

- 防犯対策として門扉にセンサーブザー、園舎前坂道に街灯を設置した。
- コドモンを活用しているが、さらに機能を増やし業務効率化を図りたい。
- 施設内外の危険箇所は用務員が改善を行っている。
- ドキュメンテーションで子ども達の園での活動の様子を配信することができた。保護者からも喜ばれている。
- ICT コドモンで日誌や指導案等を円滑に進めることができる。

### 地域・小学校との連携

- 地域のイベント「へしきやユイマールマルシェ」に参加、子ども達の作品を展示した。次年度も積極的に参加し地域活性化に貢献したい。
- 運動場、プール施設の利用や運動会を体育館で実施したことにより年長クラスは小学校入学への期待感が高まっている。
- 定期的で開催される「保幼小連絡会」に保育教諭が参加し、教職員と情報共有をしている。
- もずく祭り、十五夜祝いに5歳児クラスが参加し音体を披露した。
- 運動場での活動を通して児童と触れ合う機会があり、子ども達も喜んでいて、校長先生が園に訪問した際に自己紹介や交流を行い、親しみを持つことができた。
- かなさ保育園、分園や勝連こども園園児と交流活動を設けたい。
- 平敷屋小学校の読み聞かせボランティアに当職員が参加し、小学校児童と交流を深めることができた。
- 次年度は自然体験や園外保育を充実させたい。

### 子育ての支援

- 子育て支援についてはHPで案内を行い、公民館や児童館にパンフレットをおいてもらっているが利用者が少ない。
- 送迎時等、子どもの様子を伝え、保護者から相談がある時は専門機関と連携をとりながら情報を提供している。
- 保育参観や個人面談で保護者の意見を聞いたり様子を伝えたりしながら共通理解に努めた。
- 一日の子どもの様子や連絡事項を伝えている。降園した後に園庭内で怪我をする事例があったので園庭遊具の遊び方ルールを作成し、保護者と共有した。

### 情報の発信

- コドモンで配信しているがシフトや行事予定の活用がうまくできなかった。
- 連絡協議会や保幼小連絡会などに参加し園や子ども達の様子を共有している。
- 行事前など練習風景の写真を撮ることに課題を感じた。フリー保育教諭や支援員と共有し改善する。
- 子ども達の活動の様子をドキュメンテーションで配信することで保護者と共有している。

### 外部評価

- 沖縄県福祉サービス第三者評価 2回受審（令和2年度/令和4年度）
- 保護者アンケートを実施することで保護者の様々な意見をいただき改善に努めた。
- 外部評価（施設関係者評価）の結果を全職員で共有し改善に努めた。

### ・園・自己評価の成果と今後の取り組み

- 子どもの人権擁護のためのセルフチェックリストを用いた保育の振り返りや怒りをコントロールするアンガーマネジメントについて園内研修で学びスキルの向上を図った。個々の職員が子ども一人一人の理解を深め、丁寧な関わりや言葉使いを踏まえて受容に努めた。また、保育ICTを取り入れ、指導計画や保育ドキュメンテーションの作成など職員の業務負担軽減に取り組んでいる。
- 体系的な研修受講で職員一人一人の資質向上に努めた。県外研修も積極的に受講し、他県の人や文化に触れることで見聞を広げ、職員のモチベーションとなった。次年度も積極的に取り組みたい。
- 体験活動では自然体験の機会が少なかった。次年度の課題として子ども達の興味関心に合わせ、身近な場所から五感を使って楽しめる自然体験を立案する。
- 職員同士の「報・連・相」がうまくいかない事例が目立ったので、その必要性や伝え方を職員全体で共有した。